

特集 令和2年度 郡上市施政方針

令和2年度は「第2期 郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタート。
観光戦略、スポーツツーリズム、雇用創出等の取り組みから「人」に焦点をあてた戦略を進め、全世代が活躍できる地域へ。

平成から令和へと時代が変わり、いよいよ7月からは、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されます。本市では、これまで7人制女子ラグビー競技のホストタウン登録や合宿誘致などを行っており、これらの取組みによりオリンピック聖火リレー県内ルートの一つに選定されました。4月4日には、市役所を出発して長良川鉄道郡上八幡駅に至る約2・7kmのコースで聖火リレーが行われます。また、パラリンピックの聖火は「徹夜おどりの火」として、8月14日に白鳥おどりの提灯から採火します。市民の皆様とともに郡上の想いを聖火に込めて東京へ届け、大会の成功を見守りたいと思います。

また、オリンピック・パラリンピックの熱気を引き継ぎ、10月末には、岐阜県で初めて「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」が開催されます。本市では、「日本民謡」と「ラグビーフットボール」が行われ、全国から多くの皆様をお迎えいたします。大会が無事かつ有意義に開催できるよう、また、来訪される皆様に喜んでいただけるよう、市を挙げて取り組んでまいります。

さて、郡上市は、今年3月から「合併・市制施行17年目」に入ることとなり、いよいよ次のステージに移行してまいります。これまでの実績の上に新たな展望をもって、みんなが安心して暮らし続けられる、活力ある「ふるさと郡上」を構築するため、引き続き「観光立市郡上」を政策推進の旗印として掲げ、地方創生を積極的に進めてまいります。特に、令和2年度は、令和6年度までの5年間を計画期間とする「第2期 郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートします。

第2期の総合戦略では、第1期で進めた施策の成果を引き継ぎながら、より戦略的な取り組みとなるようバージョンアップを図っており、市域における経済循環を高め、データに基づく観光戦略を先導する『日本版DMO』の候補法人に登録された一般社団法人郡上市観光連盟を核として、多様な関係者との合意形成を図りながら「観光地域づくり」を本格的に実行します。また、スポーツコミッションの運用開始によるスポーツツーリズムのさらなる推進や、産業支援センターを中心とする若者の市内就業や事業承継、新規雇用創出などを重点項目として取り組みます。さらに、令和2年度からは、新たに「未来の郡上を担う人材の育成」に着目した施策を展開し、全ての世代の皆様が生き生きと活躍する地域社会に向け、「人」に焦点をあてた戦略を進めてまいります。このほか、第2次郡上市総合計画や総合戦略に基づいて、「子ども子育て・教育」「地域支え合い」などの重点プロジェクトにも引き続き注力してまいります。

こうした考え方や背景を基に令和2年度の当初予算案を編成した結果、当初予算の規模は、一般会計272億400万円（3・0％、8億3,800万円の減）、特別会計118億592万円（14・7％、20億2,994万円の減）、企業会計112億7,721万円（55・7％、40億3,634万円の増）、合計502億8,713万円（2・4％、11億6,840万円の増）となりました。令和2年度からは下水道事業が公営企業となる影響から、特別会計が大幅に減となり企業会計が大幅に増となりました。

※令和2年第1回郡上市議会定例会における市長の施政方針より抜粋



令和2年度予算における重点プロジェクト（抜粋）

地域経済と市民活動の循環が導く豊かな郡上「観光立市郡上」の推進

4年目となる令和2年度は、DMO候補法人に登録された郡上市観光連盟が推進する、効果的なプロモーション等を行うためのデジタルマーケティング対応サイトの完成を目指す。また国内外からの合宿誘致、スポーツ交流に重点を置いたスポーツツーリズムの推進のため、スポーツコミッションを新しく設立し、郡上市の新産業確立に向けた専門的で高度な体制づくりを推進する。

属で担当するより専門的で高度な組織としてスポーツコミッションを設立する。スポーツと観光を融合させた新しい産業を確立するため、国際的なスポーツ大会の開催、合宿誘致、市民の健康増進等に取り組む。

◆日本一のおどりのまち郡上推進事業

新規プロモーション動画の制作
 : 踊りの普及・啓発を目的に、縁日おどり会場および徹夜おどり会場で郡上おどりの撮影を行い、保存のためのおどり解説素材および誘客素材としての活用が可能なプロモーション動画を制作する。

◆郡上八幡 町屋敷越前屋活用事業

新規越前屋Webページの制作
 : 利用状況、イベント情報、地域づくり情報、利用団体活動等の発信を行う。

◆郡上八幡城誘客促進事業

新規3市4城連携協定（仮）郡上八幡ゆかりの城シンポジウム
 の開催 : 兵庫県尼崎市と大垣市、郡上市の「城を活用した観光まちづくり」に関する包括連携協定に基づき、「尼崎城」「大垣城」

「墨俣一夜城」に「郡上八幡城」を加えた3市4城連携シンポジウムを開催し、城を活用した観光まちづくりを推進する。

◆2020スポーツツーリズム推進事業

新規スポーツコミッションの設立 : スポーツツーリズムを専

郡上で磨き、輝く人材の確保と育成（一人づくり・雇用対策）の充実

郡上市で生まれ、学び、育った若者が、郡上市の企業で働き、郡上市で起業するなど、未来の郡上市の担い手として希望をもって自己を高めることができる仕組みづくりを進める。

また、郡上市の新たな発展に貢献できる人材の育成を図るため、常に意欲を持って自分を磨こうとする者が、様々な分野において新たな挑戦をすることができる環境の整備と各種支援の充実を図る。

新規 郡上の未来を創る人材育成プロジェクト事業：第2期郡上市総合戦略の基本視点である「未来の担い手づくり」を推進する重点事業として、「郡上市人材育成ビジョン」の策定と仕組みづくりについて具体的なプログラム開発等を行う。

◆雇用対策推進事業

新規 企業実習受入奨励金：市内の高等学校が、授業の一環として行う市内の企業での実習を通じて、企業の魅力や企業に対する理解の向上および就職促進を図るため、実習を受け入れる企業に対して奨励金を交付する。

新規 畜産担い手総合整備事業：郡上市の畜産業は、ひるがの高

原を中心に酪農および飛騨牛の生産地としての発展が期待されている。しかし、今後の畜産農家の生産基盤の拡大と経営の安定化のためには、新規就農者の育成支援を図る必要があることから、草地・農業用施設等の整備を実施し、畜産主産地の再整備を図る。

◆〈国 森林環境税〉林業技術者育成・確保事業

新規 次世代型架線集材技術検討会の設置（研修会の実施）：増加が見込まれる木材需要に対する安定供給のため、情報収集および先進地視察等を行うとともに、OJT研修の実施により架線技術者の育成を推進する。

交流と発想で創る郡上の限らない成長（一人人口減少克服・地方創生）の実現

人口減少は避けることができない課題ではあるが、郡上市が今後も持続していくためには、新しい人の流れと今までに無かった発想をもって取り組む必要がある。市外の人に郡上市に関心を持ってもらえる情報発信を行い、市外から人が流入しやすい環境を整え、また、一度市を離れた人が戻りたくなるような取り組みを進め、限りなく成長する「ふるさと郡上」づくりを目指す。

継続 郡上カンパニープロジェクト推進事業：移住定住施策を進めるため、「暮らしと起業」に焦点を当て郡上の未来を担う人材を地域外から獲得するほか、郡上の人と移住者の共同創業を推進する。

◆交流・移住推進事業

新規 Uターン希望者への働きかけ：名古屋圏に焦点を絞ってUターン希望者の取り込みを促進する。

◆大都市ネットワーク構築・関係人口創出事業

新規 クラウド版「郡上藩江戸蔵屋敷」の開設：いつでも誰でも蔵屋敷体験講座が疑似体験できるように、ホームページをリニューアルし、郡上ファンが増加と関係人口の拡大を図る。

継続 八幡市街地空き家活用推進事業：市全体の人口減少の克服および八幡市街地の空き家対策として、空き家調査から借り受け、改修、借り手募集などを一体的に管理し、長期的な事業を展開しながら移住者の増加を図る。

〈地域資源を活かして産業を育てるまち〉（産業・雇用）

新規 〈国 森林環境税〉生活保全林整備事業：人家、農地および生活道路等に隣接し、大雨や強風等により災害が発生する可能

性の高い場所、獣害等により生活環境の悪化が予想される場所等に位置する生活保全林の間伐や皆伐を行い、森林の保全および生活環境の改善を図る。

〈美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまちづくり〉（環境・防災・社会基盤）

新規 太陽光発電設備等設置：市総合文化センター屋上に太陽電池パネルを設置するなどし、停電等非常時の電源確保による防災対策と温室効果ガス排出抑制による環境対策を推進する。

新規 ブロック塀等撤去費補助事業：地震等によるブロック塀の倒壊により、通行者等に危険が及ぶことを防止するため、避難路、通学路等の沿道に設置されているブロック塀の撤去工事を行った市民に対して、経費の1/2の補助を行う。

新規 防犯カメラ設置補助金：自治会等の公共的団体が行う防犯カメラ設置に要する費用に対する補助を行う。

新規 高齢運転者交通安全対策事業補助金（サポカー補助金）：高齢運転者の操作ミスによる事故を防止するため、65歳以上の人が後付けのペダル踏み間違い急発進等抑制装置を購入設置する費用に対する補助を行う。

〈支えあい助け合う安心のまちづくり〉（健康・福祉）

新規 子育て世代包括支援センター事業：新たに「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊産婦および乳幼児等の健康保持増進に関わる支援を行う。

新規 認知症対策事業：認知症対策の拡充を図るため、認知症の人が事故等により第三者に損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合の保険加入費用を公費負担する。

〈香り高い地域文化と心豊かな人を育むまちづくり〉（教育・文化・人づくり）

新規 民俗文化財調査事業：「白鳥の拝殿踊り」の調査研究や記録作成等を行い、今後の保存伝承の基礎資料を作成する。将来的には、映像記録と合わせ地域活性化等の事業への活用を図る。

新規 短歌の里交流館よぶごどり開館1周年記念事業：令和3年度が「東氏入部800年・古今伝授550年」となることから、「短歌の里交流館よぶごどり」開館1周年記念事業としてプレイベント講演会を開催し意識の醸成を図る。また、大河ドラマ「麒麟がくる」に関連した講演と企画展を行う。

令和2年度施政方針及び当初予算編成方針等の全文は、市ホームページにも掲載しています。